

魔法のプロジェクト FY23 活動報告書

報告者氏名: 大木 洋美

所属: 静岡県田方郡函南町立東小学校 記録日: 2024年 2月 27日

キーワード: 対象児童と程好い関係性を築き担任との連携をはかり、就学支援や不登校支援を並行していく。

【対象児の情報】

通級指導教室通級児童 20名(6歳から12歳) ■高機能自閉症 ■自閉症スペクトラム症
特別支援学級児童(知的) 5名(6歳から8歳) ■知的障がい ■知的障がいを伴う自閉症
特別支援学級児童(自閉・情緒) 4名(6歳から11歳) ■高機能自閉症 ■自閉症スペクトラム症
不登校児童2名(7歳から12歳)

【活動目的】

・当初のねらい(計画書の学習目標)と活動による方向性の確認状況

	課題
通級指導教室	① ADHD 傾向があり、日常生活でしばしば危機管理が困難な場合がある。 ② ASD 傾向があり、集団生活や人間関係での不適応が見られる。 ③ LD 傾向があり、学習面での困難がある。 【学習目標】 通級指導教室で、自分に合った活動や学習方法を選んで試すことを通して、達成感や自信をもっていく。
特別支援学級(知的)	自分に合った方法で学習や活動に取り組み、困難を軽減していく。
特別支援学級(自・情)	昨年度までの魔法のPJの導入により、学習面での困難は軽減され。心理的な安定が持続するようになってきた。今後は交流学习や交流行事への参加を勧めて、学習機会の保証をめざしていく。
不登校児童	学校で安心して過ごせる時間をもつ。行事等に、できる方法で参加していく。

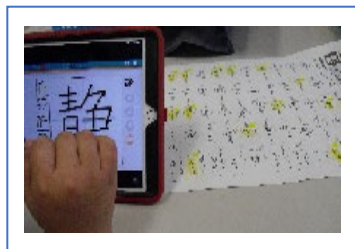
・実施期間 2023/5/12 から 2024/2/26 まで


・実施者 大木洋美 (紅林 紀子 工藤 さやか 田中 奨人)






・実施者と対象児の関係 通級担当・特別支援コーディネーター・不登校担当




【活動内容と対象児の変化】

対象児	対象児の9月の状況 学年・性別・就学支援	活動の具体的内容 活用した教材教具・アプリなど	対象児の事後の変化
A 6 年 男 ・ 通 級	<p>聞く・読む・書く・計算するの困難がある。手先が器用で工作などは得意だが、教科の課題に沿って製作したり、時間内に仕上げたりするのが難しい。</p> <p>学級では一人であることが多く、友達や教員との双方向の会話が成立しにくかった。</p> <p>対話活動から、戦艦大和や自衛隊への興味関心が高いことが分かった。</p>	<p>○通級指導の聞き取り課題に、『戦艦大和99の謎』を取り入れ、読み聞かせ後に質疑応答する。</p> <p>○通級指導の「お楽しみ」として、「大和ペーパークラフト1/900」の製作をしている。</p>	<p>○図画工作の紙粘土造形や、国語の話す課題の題材、卒業文集の内容などを「戦艦大和」「自衛隊」で進めた。大和や自衛隊に関わる話題をきっかけに徐々に周囲との双方向のコミュニケーションをとりつつある。</p> <p>○今まで授業時間内に取り組みなかった課題に前向きに向かう姿が見られるようになった。</p> <p>※宿題の自分学習の調べ学習</p>
B 6 年 男 ・ 通 級	<p>学習性限局症(LD)傾向があり、文字を書くことに時間がかかる。また、感情の起伏が激しく気分が大きく高揚して場にそぐわない言動をしたり、ちょっとした行き違いに激昂してトラブルを大事にしたりすることがあった。</p> <p>本人は勉強ができるようになりたいと強く願い、やり方が分かれば取り組める。視覚と手の協応に課題があるため、手本を離れての反復練習は不正確になりやすい。</p>	<p>○定期的に年4回実施する漢字のテストでは、事前に取り組み方を話し合い、どのように受けるか、目標をどうするかを決めておく。その上で、漢字アプリを使ったなぞり書きや手本を間近に見て反復をしたり、「おぼえる漢字」で、漢字の構成をおさえたりしておく。</p> <p>問題数の多さで気持ちが萎える傾向があるので、本人と目標を設定しておく。</p>	<p>○漢字の定期テストでは、通級担当と決めた60を%大きく超えて、本人は大喜びだった。算数の少人数指導などで、意欲的に学習に取り組んだり、単元テストの結果を待ちわびたりする姿が見られるようになった。</p>
C 6 年 男 ・	<p>学習性限局症(LD)傾向があり、助詞や促音表記、カタカナや漢字の定着が不十分であるので、板書のノートテイクや自分の考えを話したり書いたり、読解問</p>	<p>○表記の困難はあるが、情報の認知ができ、感情を言語化できるので、作文等を書く場合、文章を組み立てていくワークシート等を使ったり、iPadやタブレ</p>	<p>○作文のワークシートを活用することによって、日記や行事の作文などへの抵抗感が減った。保護者向け発表会のプレゼンテーションや卒業文集の「将来</p>





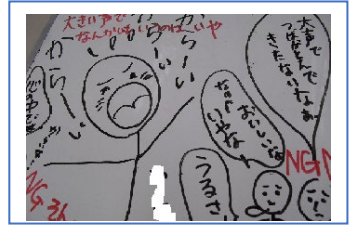



<p>通級</p>	<p>題に取り組むのは困難が大きい。本人は「なんで僕みんなと同じようにがんばっているのに、勉強ができないかな。」とつぶやくことがあった。</p>	<p>タブレットの音声機能を利用したりました。</p>  	<p>の夢」についても、時間内に書き上げることができた。</p> 
<p>D 6 年 男 ・ 通 級 指 導</p>	<p>個別の教育支援家計画で、通級教室と連携し、本人に合ったためあてを立てて取り組めるようにしていきたいとあった。漢字学習については、本人の取り組める量を決めて、言葉や漢字の意味を覚え、語彙力を付けていく方法で取り組んでいくと、定着が向上した。</p>	<p>○漢字をパーツに分けたり、意味付けしたりすることが、本人に向いていたため、漢字テスト前に進んで取り組むようになった。</p> 	<p>○適応が見られたので、9月末で通級指導を終了した。</p> 
<p>E 6 年 女 ・ 通 級 指 導</p>	<p>ADHD 傾向があり、周囲の状況を把握せず、衝動的な言動が見られた。町中で見知らぬ人に、学校では、しばしば周りの様子を考えずに発言することがあり、周りから距離を置かれがちだった。</p> <p>高学年になってからは、そこに苦しさを感じている様子も見られるようになったが、グループに入りたいとか、周囲に好かれたいというところまでは至っていなかった。学級での話し合い活動の場面で読書をス続ける姿が見られた。</p>	<p>○個別の指導計画の長期目標「学級内の友達とかかわりを多く持つことで、相手の相手に立場に立って発言・行動することができる。」を受け、『あたまと心で考えよう SST ワークシート』を使って、身だしなみや対人関係スキルを扱った。</p> <p>○身だしなみや清潔感が周囲から受け入れられる一歩であることや、思春期指導・マナーに取り組んだ</p>  <p>女の子ノート</p>	<p>○洗顔、洗髪、整髪を心がけることが身に付いてきた。汚れた衣服を着替える習慣ができ、清潔感が出てきた。</p> <p>○校外学習中に初潮を迎えたが、落ち着いて処置ができた。</p> <p>○同性の友達から放課後に遊びにさそわれたり、教室で対話をしたりしている姿が見られるようになった。</p> <p>○産前休で休む元担任に、花を準備して渡していた。そうした他者への気遣いや好意の行動化が生まれつつある。</p>
<p>F 5 年 男 ・</p>	<p>クラス全体への連絡において、係の友人が言っていることやルールを理解していなかったため上手いかなことが多い。周囲の状況を理解できず勘違いし</p>	<p>○ 認知のゆがみが見受けられ、被害者意識をもちやすかったので、「コミック会話」を使って時系列でトラブルの過程をつかみ、未然に防ぐにはどうしたらよ</p>	<p>○「最近、困ったことが少ない。まあいいや、と思えるようになった。」と口にしていた。</p> <p>○トラブルは激減したが、コミュニケーションが双方向になりにく</p>

<p>通級指導</p>	<p>たり、相手の行動から被害者意識をもったりしがちだった。 相手の立場を一つずつ整理し、理解する作業が必要ということから、学級担任は、本人が不安感をもたずに考えを表出できるように、ハンドサインを使ったり、発言の前にノートに○をつけたりなどの支援を行った。</p>	<p>いかを考えた。 ○『聞き取りワーク』を使って、聞き漏らしや勘違いを防ぐためにメモをとる練習をしている。「自分に合った覚え方を見つけよう」で8つの方法から自分に合ったものを選ぶのが効果的だった。</p>	<p>いので、ゲーム「ロボロックスのやり方を先生に教える」というテーマで、会話練習を行った。 ○十分な適応が見られたので、通級指導年度末で終了。</p> 
<p>G5年男・通級指導</p>	<p>7月までは工作をしながら通級学級の授業を受けていた。事前の約束では担任以外の授業には工作を止めて参加する約束になっていたが、実際はそうはいかなかった。現状では5教科の単元テストの点数は平均以上とれているが、学習内容が難しくなると懸念される。 通級では、教室周辺環境整備と作品のとりまとめ、作品を支援学級に言って見せながら、本人の自己有用感を高めたり、支援学級児童との交流を薦めたりしている。</p> 	<p>○作品制作が対象児の心理的安定につながっていることや、作品のクオリティーが高いので、周囲に尊敬されて自己有用感や自信につながっていることを学級担任も認めていて、その中でどうしていくかという話し合いを保護者や本人と重ねていた。 ○通級指導教室では、授業のどの教科でどのくらい工作をするのかを対象児にきめてもらったところ、10月には、ほぼ年度当初の約束が守れるようになった。</p> 	<p>○中学校進学に向けて、今までは感覚過敏で難しかった体育着への更衣について徐々に実施できるようになった。 ○保護者が対象児の特性を理解し、本人にとってどうかという視点で特別支援学級への就学支援を視野に入れ始めている。 ○特別支援学級の児童と交流する機会を設定したところ、作ってほしいもののリクエストがあり、相手のニーズに合わせての製作の機会を得た。 ○県のオンライン美術館「キッズミュージアム」に作品が掲載され、校内にも紹介されて励みになった。</p>
<p>H4年男・通級指導</p>	<p>LD ADHD 自閉症スペクトラム疑い について、医学的診断が出ている。漢字の習得は依然難しい状態である。学年相当の宿題では難しく1年生程度の漢字を並び替えるプリントを出しているが、それでも1人ではできず、保護者に手伝ってもらって何とかこなしている。 言葉の教室の取り出し指導に加えて、通級では、特殊音節や助詞の習得を進めている。</p>	<p>○書きの困難はあるが、理解はできている部分がある。教科書にフリガナをふっておくと、それを頼りに音読をするようになった。 ○MIM教材を使って、特殊音節について体感を活用して習得するのに並行して、漢字の読みの習得をゲーム感覚で進めている。</p> 	<p>○単元テストでは、問題を読み上げて口頭で答える方法をとったら、点数が伸びるようになって、自信につながった。</p> 

<p>I 4 年 男 ・ 通 級 指 導</p>	<p>いたって明るい性格だが、落ち着きがなく周りの状況や場を考 えられず、トラブルが生じる。 特定のよく遊ぶ友達はいな い。友達と共通の話題で会話す るのは難しい様子で、相手から 指摘されても理解できていない ように思える。 外国籍の母子家庭でフルタイ ム勤務をしているため、生活が 不規則になりやすく、家庭学習 の環境に乏しい。ゲームを制限 なくやって夜遅くまで起きている ことがある。</p>	<p>○人懐こい性格で、来室するな り、「何して遊ぶ?ぼくは～やりたい !」という様子であった。自分 のやりたいことしかしたくない上 に、それに取り組んでも持続し なかった。 本人の好きなワンパンマンのキ ャクターを BitsBoard アプリ にテキスト、画像、音声を入れて ゲームで楽しむのをきっかけに 進めた。</p> 	<p>○ BitsBoard にローマ字表を見 ながらテキストを打ち込む作業 を 15 分程度継続して取り組め るようになってきた。 ○九九表を見たり、カイケツ下敷 きを活用したりであれば、あまり のないわり算の基本的な問題 をとけるようになった。</p> 
<p>J 3 年 男 ・ 通 級 指 導</p>	<p>就学以前に ASD の診断によ り通級入級が決まっていた。入 学後、医学的診断で読み書き障 害・軽度知的障害が出た。 整った字を書くこと・すらすら と文字を読むこと文字を読ん で、その意味を理解することに 困難がある。それに伴い、問題 文を読んで場面をイメージし、式 を立てること。片方の数字が5以 上の足し算かさや長さなどの単 位の使い方が苦手である。 比較的得意な視覚処理を切り 口に SST 教材を選定したとこ ろ、本人は楽しみながら課題に 取り組んでいた。</p>	<p>○ 穏やかで素直な性格で、学習 に真面目に取り組んでいる。困 った場面で黙り込んでしまいがちな ので、自分で考えて行動したり、 周囲に助けを求めたりするスキルの 習得に取り組んでいる。</p> <p>『子ども達のため の困ったとき事 典』</p>  <ol style="list-style-type: none"> 1. トイレに行きたくな って困ったとき 2. トイレが見つからなくて困ったとき 3. 食べ物に変な物が入っていて困ったとき 4. 相手の言うことがわからなくて困ったとき 	<p>○学校生活で判断が必要な場面 では、周囲の友達の動きを見て 同様に行動できるので、大きな 困難には至っていない。周囲か ら上手に支援を受けることがで きている。 ○適応が高く、学校生活が安定し ているので、年度末で通級指 導を終了とした。</p> 
<p>K 3 年 男 ・ 通 級 指 導</p>	<p>2歳までアメリカで過ごす。そ の後親戚を頼って同町へ転居し た。地域の子育て支援センター の支援を受けている。 優しい気持ちはあり、ゆっくり考 えれば状況の把握ができる。し かし、とっさの場面で、周囲の状 況や友達の気持ちを考えること が難しく、衝動的な言動をしてし</p>	<p>○通級では、結果の予測を考える SSTや時系列で状況をつかん でいくコミック会話を取り入れて いる。 ○結果の予測やアンガーマネー ジメントの SST を取り入れた。</p>	<p>○本人と保護者の希望から、就学 支援を始めた。対象児は「大勢 のクラスは、みんなと遊べるしに ぎやかで楽しいけど、僕がかっ となっちゃいやすい。支援学級 は落ち着けるけど少し寂しい ね。」と言っていた。通級を窓口 に交流をして、対象児が納得し て選択できるように進めたい。</p>

	まい、エスカレートすると暴力を振るうようなトラブルになりやすい。		
L 3 年 女 ・ 通 級 指 導	<p>家族関係が複雑で、昨年度までは不登校傾向があり、祖母が手をかけなければ洗顔、歯みがき、手洗い等をしないで過ごしてしまう。学習空白が大きいせいもあり、準備や宿題をせず登校している。</p> <p>教室では、授業中の集中力に欠け、活動に長く参加できない。特に個人活動は声掛けが必要。しばしば接着剤などで手遊びをしたり、紙工作をしたりしている。対人関係においては、2年時より改善傾向だがふとした時に強く言い返してしまうことがある。教師の指示を受け入れない場合がしばしばある。</p>	<p>○通級指導担当との関係性を構築するために、対象児の好きな「ちいかわ」等のキャラクターのアイロンビーズ作りを取り入れた。</p> <p>○独特の優先基準や、家族の指示を優先するマイルールが出来上がっており、学校生活上のルールに意識が向いていないので、マナーやルール、身だしなみについて扱った。</p> 	<p>○保護者の協力があって、身ぎれいにして登校するようになってきた。洗顔や歯磨きも習慣化されてきている。</p> <p>○担任や学級の友達への言動が徐々に緩和されつつある。</p>  
M 2 年 男 ・ 通 級 指 導	<p>気持ちにむらがあり、気に入らないことがあると、暴言をはき暴力的になり、一度興奮すると、落ち着くまでに時間がかかっていた。そうした理由から1年時に通級指導を行い、相当に改善してきた。現在は、登校渋りがなくなり、学校が楽しいと言っている。</p> <p>学習面では、理解力のある方だが、読み間違いや特殊音節・片仮名表記の間違いが多く、間違いを指摘されると感情的になる場面があった。</p>	<p>○通級指導教室で個別指導となると、大変穏やかで、生真面目に課題に向かう姿が見られた。感情的になってしまう場面を想起して、「コミック会話」を使って時系列で押さえると状況の把握ができた。</p> <p>○助詞の教材や MIM チェックリストプリントを扱ったりした。トレーニングを継続したところ、現時点で促音の課題は解決した。文字と音の一致ができていない10文字と、書きが不正確な18文字を取り出して練習している</p>	<p>○「コミック会話」での状況の把握を数回行っているうちに、「僕はこういう場面でかっとなりやすいんだよ。」と、自身への気付きをもてるようになった。</p> <p>○MIM きょうざいの「カタカナの言葉探し」では、スムーズに出てこない文字があるが、感情的にならずカタカナ表から探せるようになった。</p> 
N 2 年	学校生活全般で周囲と同じペースでは行動できない。始業時刻過ぎでの登校が多い上に、身	○ひらがなの音と文字の一致が未習得である。また、50音配列の位置関係が分かっていない。そ	○清音の音と文字の一致が向上した。

<p>男・通級指導</p>	<p>支度等に時間がかかるので、授業が始まって学習準備に至らない。</p> <p>学習面では、平仮名が20字程度しか入っていない。音と文字の不一致が見られ、発声にも課題がある。授業に参加しようという姿が見られるが、文字の習得に困難があるためか、持続できない。こうした状態を心配した保護者が発達外来を受診し、8月に発達検査を受け、授業を始めている。</p>	<p>うした実態から、タブレット端末に、かかりつけ医院の言語療法士から勧められたアプリを入れて、国語の時間に取り組んだり、家庭学習のメニューに入れたりした。</p> 	<table border="1" data-bbox="1098 143 1465 241"> <tr> <td>7月</td> <td>11月</td> <td>2月</td> </tr> <tr> <td>21字</td> <td>40字</td> <td>48字</td> </tr> </table> <p>○50音表がイメージできていないので、「ひらがなめっちゃわかるもん」の「50音表からさがす」を使って文字探しを行った。</p> 	7月	11月	2月	21字	40字	48字
7月	11月	2月							
21字	40字	48字							
<p>02年男・通級指導</p>	<p>興味関心が高く、その場で解決したいと思い大きな声で発言したり行動したりする。その折、周囲の状況や相手意識をもたずに衝動的に行動したり、パーソナルスペースの感覚が低いせいか他者に近付きすぎたりするため周囲に疎まれやすい。</p> <p>相手との適度なパーソナルスペースをもとめたり、状況を認識して言動したりしようとするための SST を行う。</p>	<p>○生活絵カード(場面の認知と予測の対応相手の気持ちを知ろう。)を使っての SST では、場にふさわしい行動への判断や選択ができていた。</p> <p>○「自分事」として状況を捉えるために、「コミック会話」を活用した。対象児の学級に給食指導に入っていたので、リアルタイムのトラブルを題材として使うことができた。</p> 	<p>○給食中の様子は大変落ち着いてきている。周囲から強く非難される場面が減ってきている。</p>  						
<p>P2年男・通級指導</p>	<p>学習の場面で、周囲に気をとられて時間がかかる。また、そうした繰り返しから学習機会を逸しやすかった。休み時間等に学級で少人数指導の機会が日常的に設定されていたが、できないことを周囲に知られたくない気持ちが強く、参加が難しかった。</p> <p>何もないところでも躓いたり転んだりしやすい。ふざけて友達に身体に触り、仕返しにくすぐられて転倒したことがあった</p>	<p>○後期になっても、繰り返しが繰り返り下がりの操作や九九などが十分身に付いていなかった。「わかる!算数小学~年」は、かわいいキャラクターが簡潔に課題を紹介し、数量が視覚化されてスモールステップで構成されていて、つまずきのストレスを押さえながら問題を解け成感も味わえた。</p> <p>○衝動性を抑えて、自身の安全を守る学習や、体幹を鍛える運動を取り入れた。</p>	 <p>○九九の習得を暗唱よりも九九表を見ながらやってはどうかと保護者に提案したところ、以前より取り組みがよくなった。感情的になるために、学習が進まない実態だったので、学習補充による成果があった。</p>						

<p>Q 1 年 男 ・ 通 級 指 導</p>	<p>周囲の気配や音、騒音に敏感である。身支度や給食の途中で他のものに気を取られやすく、時間がかかる。家庭でも食事中はパーテーション(父親の自作)で情報を遮断しないと食事が進まないとのことだった。</p> <p>衝動性が高く、目についたものに飛びついたり、開放的な場所で走り出したり、不意に回転したりする。登下校も周囲の情報に気をとられて安全確保に課題がある。</p> 	<p>○ドロップニュースが大好きで、一週間分の記事を読んで、それについての感想や意見を述べることができる。こうした表れから、自分の興味関心のあるものには博識で勉強熱心なことが分かった。</p>  <p>○学習の場面で、周囲に気をとられて時間がかかる。また、そうした繰り返しから学習機会を逸して、学習空白が生じやすかったため、学習アプリを活用して補習を行った。</p>	<p>○落ち着いていれば自分の良さが出ることを対象児や保護者に返していった。</p> 
<p>R 1 年 男 ・ 通 級 指 導</p>	<p>休日明け、高気温な日は朝から元気がなく、ぐったりしていることが多々ある。保護者変更や転居等の環境変化による負荷も大きい。7月の面談では、母親もこの疲弊が見られた。</p> <p>学習意欲にムラがある。一斉の指示で理解し、活動することは難しい。ひらがな・数字等が鏡文字になりやすく、形を覚えているが、構成をつかむのは難しい。塗り絵で色を塗り分けることが苦手。一色で雑に塗る。</p>	<p>○後期になると、疲れてぐったりする状況がほとんど無くなった。体を動かすことを楽しむことができるので、体ほぐしや体幹を鍛えるトレーニングを取り入れる。気持ちを切り替えるアプリを取り入れた。</p> 	<p>○初発は「ドロップニュース」5分間、お楽しみは「ダッチガード」10分間と、自分で決めていた。～したい。という意思表示をよくするようになった。</p>
<p>S 1 年 男 ・ 通 級 指 導</p>	<p>就学前から ASD 診断が出ており、自閉情緒学級への判定がおりている。保護者の大勢の仲間からの刺激を受けて生活させたいという願いから、通常学級在籍となった。</p> <p>自分の思いを伝えたい気持ちや一番や満点へのこだわりが強く、気持ちの安定が難しいときがある。また、一斉指導での指示</p>	<p>○周囲からの情報刺激が、対象児にとって意欲や気付きを喚起するものか、自己肯定感を下げものかについて、両親に提案してきた。その際、R2～R4の魔法の対象児達が、通常級に就学指導し適応したり、自閉情緒学級において、学年相当の教育課程を受けながら穏やかに過ごしていたりしている事例を紹介</p>	<p>○次年度より保護者の希望で、自閉情緒学級への就学支援と</p> 

	<p>が本人独自の受け止めをしがちである。</p> <p>手先の不器用さがあり、微細運動に困難が見られるので、それらに応じたトレーニングを取り入れている。</p>	<p>した。</p> <p>○微細運動のトレーニングとして、マナー豆、ビー玉ジグザグ、</p>	<p>なった。現在は通級指導時間に数分程度交流を行っている。</p>
T 1 2 年 男 女 ・ 知 的 学 級	<p>ひらがなの文字と音の一致が困難であるので、音を聞きながら文字のマッチングをしたり、書いたりする活動を取り入れた。</p> <p>数の概念ができていないので、具体物を見ながら計算に取り組みようにしている。</p> 	<p>○手本が近くにあっても字形が崩れやすいので、書き順を提示されながらなぞり書きをしていく。こうして本人に合ったアプリを使うことで、習得を高めていく。</p> <p>○目で見て数量を感じるように教材を選定した。</p> 	<p>○落ち着いて学校生活を過ごしている。全校集会等では、700名が集合する中でも整列して一斉指導の講話を聞くことができていた。</p> <p>○就学前には難色を示していた保護者が、対象児たちの特性を受け入れ、学校への理解をもち始めている。</p>
U 1 2 5 年 男 女 ・ 自 閉 情 緒 学 級	<p>昨年度まで担任していた学級であり、新担任が支援学級初めてなので、以前の授業形態を当面継続することになった。タイマーに学習活動時間をセットして課題に取り組む。45分授業時間内に、関連する学習番組を視聴したり、ゲーム要素のあるアプリをしたりする時間をもつことで過集中による感情の起伏を抑制する。</p>	<p>○個々の1日の流れが見て分かるような予定ホワイトボードを作成</p> <p>○授業の流れを構造化した表示</p> <p>いつ/何をするか</p> <p>○教材教具やアプリの掲示グッズ</p> 	<p>○新年度から教室移転、担任と支援員の総入れ替えがあったり、途中担任の交代があったりしたが、対象児童たちは落ち着いて学校生活を過ごしていた。保護者からも理解と協力が得られた。</p> 
V 6 年 男 女 ・ 不 登 校	<p>4月から不登校状態が続いている。学級担任が、本人が参加しやすい方法を探り、学校への抵抗感を減らす手立てを講じてきた成果として、校外学習や修学旅行の一部には、保護者同伴で参加できた。</p> <p>↓ 修学旅行コース選択資料</p>	<p>○本人の愛読まんが「こちら亀有公園前派出所」が160冊手に入ったので、通級教室に読みに来てはと誘ったのをきっかけに、週に一度程度来室するようになった。</p>	<p>○登校時に、卒業行事関係の準備や、中学進学についての連絡については、保護者と本人に教務主任から連絡調整するようになった。</p> <p>○卒業制作や中学への学習準備等を、週一度の通級指導時間に取り組むようになった。</p> <p>○通級指導を切り口に卒業式の</p>

		<p>↓会話の糸口となったマンガ本</p> 	<p>練習を参観することができた。 ↓校長先生と証書授与練習</p> 															
<p>W 2 年 女 ・ 不 登 校</p>	<p>1年次より不登校傾向があり教室に入れなかった。友達や担任との関係性が築けなかった。校内の話し合いで、登校時の居場所として通級指導の場所を提供することになった。</p> <p>登校時は、家族が同伴して、通常教室に寄ってから通級教室に来室して過ごしていた。当初は、ホワイトボードにお絵描きだけをしていた。</p>	<p>○通級指導のようすを見ていくつかの学習アプリやゲームに興味をもった様子だったので、気持ちの安定しているときに取り組んでみた。</p> <p>○12月には、挨拶を返したり、問いかけにYES/NOの意思表示をするようになった。</p>	<p>○通級教室の場所を提供することで、登校が増えている。</p>  <table border="1" data-bbox="1074 887 1465 1131"> <tr> <td>月</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>登校日数</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>来室日数</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>○自分で下校時刻や活動内容を決めることが出来つつある。</p>	月	11	12	1	2	登校日数	0	4	7	9	来室日数	0	4	6	8
月	11	12	1	2														
登校日数	0	4	7	9														
来室日数	0	4	6	8														

【報告者の気づき】

・主観的気づき

【エピソード1】通級指導終盤の「お楽しみ」ランキング3

NO.1 「ラッシュアワー」

トレーの上で小さな車を動かしながら、赤い車を外に出す。ビジュアル的に楽しいし、ゲームのルールや方向性が容易に理解できる。試行錯誤しても何とかクリアできるが、考えてプログラミング的思考や論理的思考を育むのに有効である。また、当初はマス目に合わせて車を置くので、見る力や手先の細かい動きを要する。



NO.2 「タッチガード」

カードに描かれたイラストをさわったり、オブジェクトを動かしたりする操作が直感的にできるので、ストレスがない。ゲームに参加しながら、語彙を増やしたり、形合わせやマッチングができたりして楽しめる。



ミスターシェイプのワークワー
ク～おやごで遊べるおしご...



Mrs.remyのタッチフード
教育

NO.3 風船バレー「アレクサ・アマゾンミュージック」

教室に平ゴム4Mでネットをはり、ゴム風船でバレーのようなゲームを行う。対象児によってルールを変える。

- ① ゲームのねらいを変える 勝敗？ラリーの継続？
- ② ハンデを変える 対象児が運動能力の高い子にハンデ 教師側 本気？ほどほど？手加減？モード
- ③ アレクサに好きな音楽をリクエストする場面で、その音楽について対話することで、より対象児を知ることができる。



2018年度魔法のダイアリー以来、6年間採択していただき、様々な研修の場に恵まれた。特別支援教育初心者として知的学級2年間・自閉情緒学級3年間を経験しての本年度通級指導教室担当となり、教員経験は長いものの無力感や自己嫌悪に苛まれる日々が多かった。魔法のプロジェクトで出会った指導方法や教材教具を導入できたことは、本当にありがたかった。